

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験 312』

以下の設問に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

(訂正は個人成績表にも併記しています)

[午後問題 50]

設問文: ～審査の結果、前額部のしわ寄せは**可能**→**不可能**であった。～

解説書

選択肢考察 ○b

～前額部のしわ寄せが**可能**→**不可能**であるため 末梢性顔面神経麻痺と考えられる。～

正解 なし

本問題はすでに受験者の半数が解答済みであり、設問文が不適切で正解が得られないため、採点除外といたします。

参考

顔面神経の障害部位により中枢性顔面神経麻痺と末梢性顔面神経麻痺に分けられる。
末梢性顔面神経麻痺は顔面神経核よりも末梢側が麻痺する。
症状として、前額部の皺寄せ不可能、麻痺性兎眼、患側口角下垂、人中の健側偏位、患側鼻唇溝の消失、味覚障害、顎下腺・舌下腺唾液分泌の低下、涙の分泌障害などがある。

 日本医歯薬研修協会

DH312-2021-1213

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験 312』

以下の設問に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

(訂正は個人成績表にも併記しています)

[午後問題 50]

設問文: ～審査の結果、前額部のしわ寄せは**可能**→**不可能**であった。～

解説書

選択肢考察 ○b


～前額部のしわ寄せが**可能**→**不可能**であるため 末梢性顔面神経麻痺と考えられる。～

正解 なし

本問題はすでに受験者の半数が解答済みであり、設問文が不適切で正解が得られないため、採点除外といたします。

参考

顔面神経の障害部位により中枢性顔面神経麻痺と末梢性顔面神経麻痺に分けられる。
末梢性顔面神経麻痺は顔面神経核よりも末梢側が麻痺する。
症状として、前額部の皺寄せ不可能、麻痺性兎眼、患側口角下垂、人中の健側偏位、患側鼻唇溝の消失、味覚障害、顎下腺・舌下腺唾液分泌の低下、涙の分泌障害などがある。

 日本医歯薬研修協会

DH312-2021-1213